

平成 31 年度

事 業 計 画 書

平成31年度事業計画書

自 平成31年4月 1日
至 平成32年3月31日

1 研究事業

事業名	事業の内容
1. 大阪湾における台風来襲時の走锚海難の防止に関する調査研究	平成30年に、勢力の強い台風が相次いで大阪湾に来襲し、特に9月の台風21号は、これまでの記録を超える高潮を発生させ、強風や高波と相俟って走锚船舶の衝突により関西国際空港の連絡橋が損傷するなど海陸に甚大な被害をもたらしたが、台風接近時には、各港の在泊船に対して港外への避難勧告が出され、多くの船舶が大阪湾内で錨を入れて避泊する状況にあり、近年、台風の巨大化が注意喚起されている中、これまでの想定を超えるような高潮をはじめとする台風の影響の深刻化に対して走锚海難を防止するための更なる方策を策定して海上交通の安全に寄与する。
2. 友ヶ島水道周辺海域における小型船舶の海難による船舶交通への影響の防止に関する調査研究	船舶交通のふくそうする大阪湾の出入口である友ヶ島水道周辺の海域における、プレジャーボート等小型船舶の海難の実情について調査把握し、その防止策を検討するとともに、一般船舶における小型船舶への対応に関する注意事項等を取りまとめ、当該海域における小型船舶の海難防止及び一般船舶の航行安全方策を策定して海上交通の安全に寄与する。

2 調査事業

事業名	事業の内容
大型クルーズ客船の入出港に係る航行安全対策調査（仮称）	大型クルーズ客船の入出港及び着離岸に係る航行安全対策等の検討調査
港湾工事等に伴う船舶航行安全対策調査 No.1（仮称）	護岸築造工事等に伴う海上交通流の変化等新たに生じる海上交通の諸問題に係る航行安全対策等の検討調査。
港湾工事等に伴う船舶航行安全対策調査 No.2（仮称）	航路浚渫等に伴う海上交通流の変化等新たに生じる海上交通の諸問題に係る航行安全対策等の検討調査。

3 情報開示

事業名	事業の内容
1. 航行安全情報管理業務	<p>① 神戸沖埋立処分場航行安全情報管理業務 神戸沖埋立処分場へ出入りする廃棄物輸送船及び一般船舶の情報を収集・整理し、あわせてその周辺海域の監視を行って、関係者に情報提供する。また、ホームページを活用し広く一般に安全情報を広報周知する等の航行安全情報管理業務を実施する。</p> <p>② 神戸港工事等に伴う航行安全情報管理業務 (平成30年度からの継続業務) 防波堤撤去等に伴う工事作業に関する情報を収集・整理し、あわせてその周辺海域の監視を行って関係者に情報提供するとともに、一般航行船舶の動静情報を収集・整理し、工事作業施工者に情報提供する。また、ホームページを活用し広く一般に安全情報を広報周知する等の航行安全情報管理業務を実施する。</p>
2. 海難防止強調運動の実施	全国一斉に実施される「海の事故ゼロキャンペーン」及び特定の海難に係る「地方海の事故ゼロキャンペーン」等の展開、推進について企画、実施し、海上交通の安全に寄与する。
3. 講習会	<p>次の講習会を実施して、海上交通の安全に寄与する。</p> <p>① 「月例会」 毎月1回（6月、8月、12月を除く。）「月例会」を開催し、当会の事業に係る業務報告、調査研究事項の報告のほか、海事関係機関等による海難防止に関する講演を実施する。</p> <p>② 「地域部会」 年1回主要港（阪神港を除く。）の海事関係者を対象とする「地域部会」を開催し、地域における海難防止に関する講演等を実施する。</p> <p>③ 「船長講習会」 海上交通安全法に基づく進路警戒船等の船長に対し、進路警戒船業務についての講習会を実施する。</p>
4. 広報活動	<p>次の広報活動を実施して、海上交通の安全に寄与する。</p> <p>① 「会報」の刊行 年4回、調査研究の成果等をとりまとめ「公益社団法人神戸海難防止研究会会報」として会員及び関係者に配布する。</p> <p>② ホームページ等の充実 ホームページ及び調査研究のデータベースのコンテンツを充実、強化し、海事関係者はもとより広く社会一般に広報し、海難防止思想を啓発する。</p>

4 その他

事業名	事業の内容
周年記念事業	平成31年6月に創立70周年を迎えることに伴い、平成31年の秋頃に式典、記念講演及び祝賀会を実施する。